

「記憶のかけら」を、あなたのそばに。

## 「記憶のかけら」プロジェクトについて

2011年、東北地方を震源とした東日本大震災は多くの被害と悲しみを私たちにもたらしました。

開館以来、佐倉市立美術館の  
エントランスホールを飾っていたシャンデリアも  
その揺れにバラバラとビーズを散らし、  
美しい姿を失いました。

このバラバラになってしまった  
シャンデリアのパーツを「記憶のかけら」として、  
みなさんの手にとどめてほしいという思いから  
今回のプロジェクトははじまりました。

ひとつひとつ針金を外し、  
丁寧に洗われたシャンデリアのパーツは、  
いま再び、誰かのもとで輝く時を待っています。

この古い建物の一時代を彩った「記憶のかけら」が、  
今までも、これからも続く時間の流れに思いを馳せ、  
街と人とをやさしく結ぶきっかけとなりますように。

佐倉市立美術館